

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東  
コード番号 9687 URL https://www.ksk.co.jp  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 信之  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 川辺 恭輔 TEL 042-378-1100  
四半期報告書提出予定日 2024年2月6日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

## (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	16,045	7.9	1,644	3.5	1,697	3.5	1,221	12.3
2023年3月期第3四半期	14,876	9.2	1,589	11.6	1,639	4.2	1,088	3.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 1,310百万円 (19.0%) 2023年3月期第3四半期 1,101百万円 (1.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	204.54	199.26
2023年3月期第3四半期	182.25	178.06

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	20,636	15,658	74.7	2,579.66
2023年3月期	20,173	14,793	72.3	2,441.29

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 15,412百万円 2023年3月期 14,581百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	80.00	80.00
2024年3月期	-	0.00	-	-	-
2024年3月期(予想)	-	-	-	226.00	226.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 有

- 配当予想の修正については、本日（2024年1月31日）公表いたしました「2024年3月期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配・記念配当実施）に関するお知らせ」をご覧ください。
- 2024年3月期（予想）の期末配当金の内訳 普通配当 88円00銭、記念配当 138円00銭

## 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,900	7.6	2,260	1.6	2,320	1.2	1,740	7.6	291.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

業績予想の修正については、本日（2024年1月31日）公表いたしました「2024年3月期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配・記念配当実施）に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	7,636,368株	2023年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,661,605株	2023年3月期	1,663,605株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	5,974,261株	2023年3月期3Q	5,970,581株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症が5月に5類感染症に変更され、社会経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境が改善する状況下で、内需の拡大と成長の兆しが見えつつあります。一方、ウクライナ情勢の長期化、中東情勢等の地政学リスクの高まりに伴う、原材料価格の高騰、エネルギー価格の不安定さに加え、世界的な金融引き締めや中国経済の停滞を背景とした景気後退の懸念等、景気の先行きは依然として不透明かつ流動的な状況が続くものと思われま

す。当社グループが属する情報サービス産業界におきましては、企業の事業構造改革や働き方改革を促進しているDX（デジタル・トランスフォーメーション）に関わる、IoTや5G、クラウドコンピューティング、生成AI関連市場等の拡大に加え、ハードウェアとソフトウェアの融合などがダイナミックな変革をもたらしています。また、「標的型攻撃」に代表されるサイバー攻撃への防衛策等、情報セキュリティ対策の重要性も一層高まっております。

このような環境の中、当社グループでは、デジタル技術の進化が加速する市場において、技術の知識と経験を兼ね備えた人材を確保すべく、報酬水準の見直し、就労環境の改善等、人的資本投資の拡充を進めてまいりました。また、新卒新入社員に対し5ヶ月にわたる基礎教育を実施する等、市場に柔軟かつ的確に対応できる人材の育成に向けた成長投資も積極的に行っております。これら人的投資によって培われた高い技術力をもって提供する付加価値の高いサービスにより、利益率の向上に努めてまいりました。さらに、持続的な事業発展には欠かせない新卒社員等の採用活動につきましても引き続き積極的に推進してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は16,045百万円で前年同期比1,168百万円（前年同期比7.9%増）の増収となりました。利益面では、一部プロジェクトの収益改善や、成長分野へのシフト等により、売上総利益は3,845百万円で前年同期比462百万円（同13.7%増）の増益となりました。一方、販売費及び一般管理費のうち、採用活動や研修・教育、エンゲージメント向上等の人的資本拡充に向けた積極投資が前年同期比232百万円増加（同40.1%増）したこと等から、営業利益につきましては1,644百万円で前年同期比54百万円（同3.5%増）の増益となりました。経常利益につきましては1,697百万円で前年同期比58百万円（同3.5%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては1,221百万円で前年同期比133百万円（同12.3%増）の増益となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

#### (イ) システムコア事業

今後成長が期待されるイメージセンサーなどの半導体設計並びに組込ソフトウェア開発の受注が伸長しております。医療装置の設計開発業務に関しても、より上流工程を担う等、引き続き堅調に推移している一方、半導体市況の回復の遅れ等から、売上高は2,805百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は740百万円（同1.4%増）となりました。

#### (ロ) ITソリューション事業

スマートデバイス検証サービスや自社開発したパッケージソフトウェアの受注が引き続き伸長しております。その他のシステム開発、モバイルアプリ開発案件も契約条件の改善が進み、堅調に推移していること等から、売上高は3,915百万円（前年同期比11.3%増）、セグメント利益は905百万円（同38.8%増）となりました。

#### (ハ) ネットワークサービス事業

ネットワーク新規構築や運用・保守業務、情報セキュリティ関連など、企業や官公庁等の旺盛な需要に対し、受注機会を的確に捉え対応できるよう積極的に人材投資を行っております。その結果、売上高は9,324百万円（前年同期比8.5%増）、セグメント利益は1,829百万円（同6.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は11,514百万円となり、前連結会計年度末に比べ219百万円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が694百万円増加した一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が454百万円、有価証券が400百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定資産は9,121百万円となり、前連結会計年度末に比べ682百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産の投資有価証券が503百万円、その他に含まれる敷金及び保証金が96百万円、有形固定資産が119百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は20,636百万円となり、前連結会計年度末に比べ463百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,089百万円となり、前連結会計年度末に比べ466百万円減少いたしました。これは主に、流動負債のその他に含まれる預り金が321百万円、未払金が243百万円それぞれ増加した一方で、賞与引当金が934百万円、未払法人税等が220百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は1,888百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円増加いたしました。これは退職給付に係る負債が38百万円、資産除去債務が25百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は4,977百万円となり、前連結会計年度末に比べ402百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、15,658百万円となり、前連結会計年度末に比べ865百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が744百万円、その他有価証券評価差額金が78百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2024年1月31日に公表いたしました「2024年3月期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配・記念配当実施）に関するお知らせ」をご参照ください。今後の業績推移等によって通期業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,707	5,401
受取手形、売掛金及び契約資産	4,736	4,281
有価証券	2,101	1,700
原材料及び貯蔵品	0	0
その他	189	131
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	11,734	11,514
固定資産		
有形固定資産	567	686
無形固定資産	93	84
投資その他の資産		
投資有価証券	6,406	6,910
その他	1,371	1,439
投資その他の資産合計	7,777	8,350
固定資産合計	8,439	9,121
資産合計	20,173	20,636
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	239	234
未払法人税等	360	140
賞与引当金	1,744	809
資産除去債務	-	8
工事損失引当金	0	0
その他	1,210	1,894
流動負債合計	3,555	3,089
固定負債		
退職給付に係る負債	1,572	1,611
資産除去債務	63	88
その他	188	188
固定負債合計	1,824	1,888
負債合計	5,379	4,977
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,670	1,670
利益剰余金	12,471	13,215
自己株式	△1,166	△1,165
株主資本合計	14,423	15,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	324	403
退職給付に係る調整累計額	△167	△159
その他の包括利益累計額合計	157	243
新株予約権	206	237
非支配株主持分	5	8
純資産合計	14,793	15,658
負債純資産合計	20,173	20,636

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	14,876	16,045
売上原価	11,493	12,199
売上総利益	3,383	3,845
販売費及び一般管理費	1,794	2,201
営業利益	1,589	1,644
営業外収益		
受取利息	30	37
受取配当金	11	12
その他	8	3
営業外収益合計	50	53
営業外費用		
その他	0	-
営業外費用合計	0	-
経常利益	1,639	1,697
特別利益		
受取保険金	-	0
特別利益合計	-	0
特別損失		
固定資産除却損	0	0
助成金返還損失	135	-
特別損失合計	135	0
税金等調整前四半期純利益	1,503	1,697
法人税等	413	473
四半期純利益	1,089	1,224
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,088	1,221

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	1,089	1,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	78
退職給付に係る調整額	24	7
その他の包括利益合計	11	85
四半期包括利益	1,101	1,310
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,099	1,307
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（2022年4月1日から2022年12月31日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,765	3,518	8,592	14,876
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	1	5
計	2,765	3,521	8,594	14,881
セグメント利益	730	652	1,710	3,093

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,093
セグメント間取引消去	87
全社費用（注）	△1,591
四半期連結損益計算書の営業利益	1,589

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年12月31日まで）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,805	3,915	9,324	16,045
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	4	4	9
計	2,805	3,919	9,329	16,054
セグメント利益	740	905	1,829	3,475

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,475
セグメント間取引消去	87
全社費用（注）	△1,918
四半期連結損益計算書の営業利益	1,644

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。